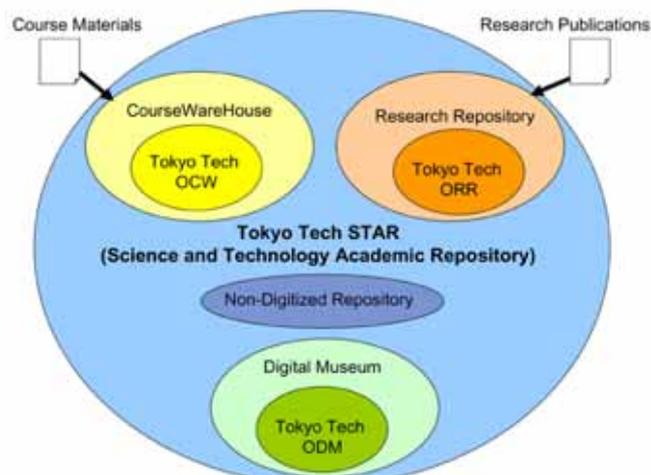


Tokyo Tech STAR / ORR構想と その学内展開

2006年5月16日

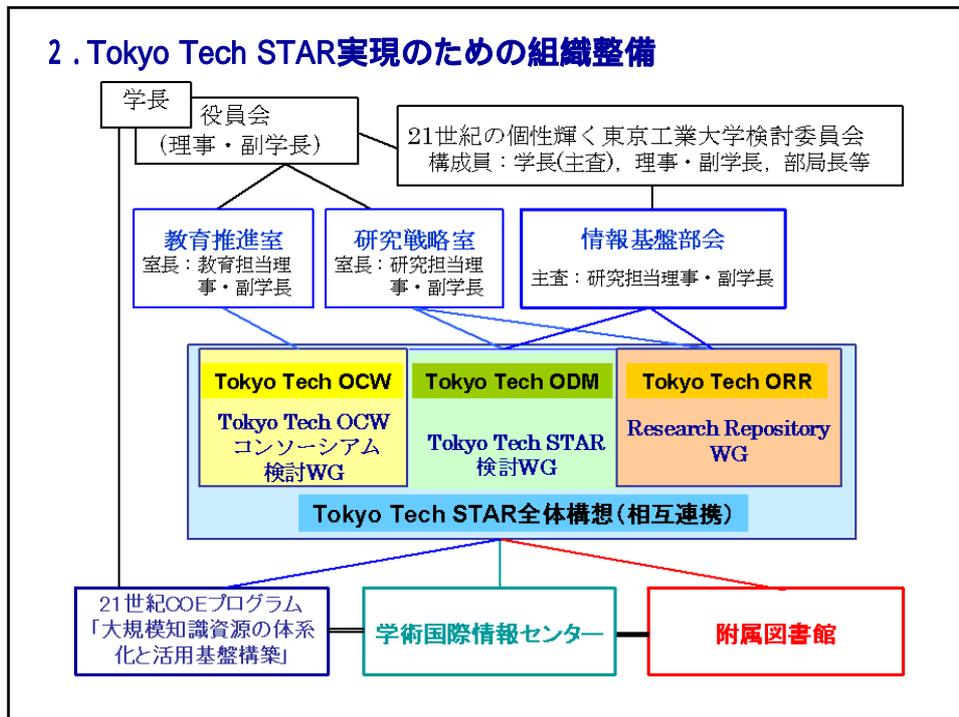
東京工業大学
学術情報部情報図書館課
熊 淵 智 行

1. 東京工業大学学術機関リポジトリ構想 (Tokyo Tech STAR)



全学的な学術機関リポジトリ構築の構想として、
Tokyo Tech STAR (Science and Technology Academic Repository)
を提案

2. Tokyo Tech STAR実現のための組織整備



3. Research Repository構築に向けた平成17年度の活動

(Tokyo Tech ORRの実現に向けた3年計画の1年次)

(1) Tokyo Tech ORR基本方針

独自システム(T2R2)の開発

- 「機関リポジトリ」システムに対する**新たな機能**の提案
- 大学の実情に合わせた**容易なカスタマイズ**,
- 学内外の他システムとの**柔軟な連携**の実現
- 全学認証・認可システムと連携した研究者自身による入力の実現
- 研究者情報システム(大学情報データベース)等との連携 等

コンテンツ搭載方針

- 学内研究者の研究論文について、全てのメタデータを搭載
- 学内研究者の研究論文について、可能な限り全文情報(PDF)を搭載
(他のサーバ・サービス等への全文情報へのリンクも可能とする)

運用指針[暫定版]および概要説明資料

URL: <http://www.nii.ac.jp/irp/info/2005/final/tokodai.pdf>

3. Research Repository構築に向けた平成17年度の活動

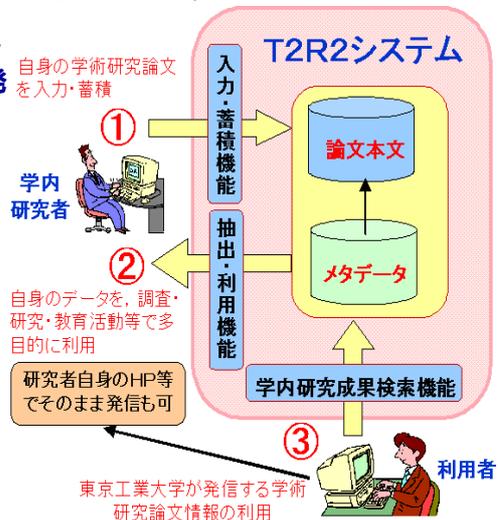
(Tokyo Tech ORRの実現に向けた3年計画の1年次)

(2) 学術研究論文情報収集・検索システム(T2R2)機能の検討・開発 (入力を行う研究者自身に対するメリットの提供)

研究者自身による継続的な入力の促進にむけて、
研究者が少ないコストで入力・蓄積可能な機能の提供
研究者自身による多目的な利用機能の提供

上記により学術研究論文等の蓄積を行った上で、
学内外に向けた発信

平成17年度は の検討・開発を実施



3. Research Repository構築に向けた準備活動

(Tokyo Tech ORRの実現に向けた3年計画の1年次)

(3) 本学研究者の学術研究論文に関するメタデータの収集・整形

開発した「研究者自身による多目的な利用機能」の検証と、学内研究者への有効性の提示を目的に、「研究者情報システム」に登録済の研究業績データに対するデータ整形を実施し、搭載済。

学術雑誌論文、会議発表論文を中心とした約9万件のメタデータ

(4) 学協会の著作権等の取り扱いに関する調査

本学研究者が多く所属する国内の60学協会に対して、運用指針および概要説明資料を添付して、学術論文誌掲載論文の著作権の取り扱い等に関するアンケート調査を実施。33学協会からの回答あり。

Tokyo Tech ORRサーバへの全文情報搭載可	: 7学会
Tokyo Tech ORRサーバへの全文情報搭載不可	: 10学会
検討中、未検討、その他	: 16学会

4. 平成18年度の主な活動予定

(Tokyo Tech ORRの実現に向けた3年計画の2年次)

- (1) 学内研究者に対する、「研究者自身による多目的な利用機能」のデモンストレーション(9万件のメタデータ搭載)を実施し、意見を聴取
- (2) T2R2 システムにおける「少ないコストでのコンテンツ入力・蓄積機能」に関する検討・開発
(全学認証・認可システム)

平成18年度に運用開始の「全学認証・認可システム」等と連携した、
入力支援システムの開発を実施

- (3) 平成17年度調査への回答において、Tokyo Tech ORR 上での公開に対して許諾の可能性がある学協会について、正式依頼の後、正式許諾を得た上で、全文情報(PDF)の搭載を開始



本格的な学内展開の開始